

健康管理で医療費を減らそう

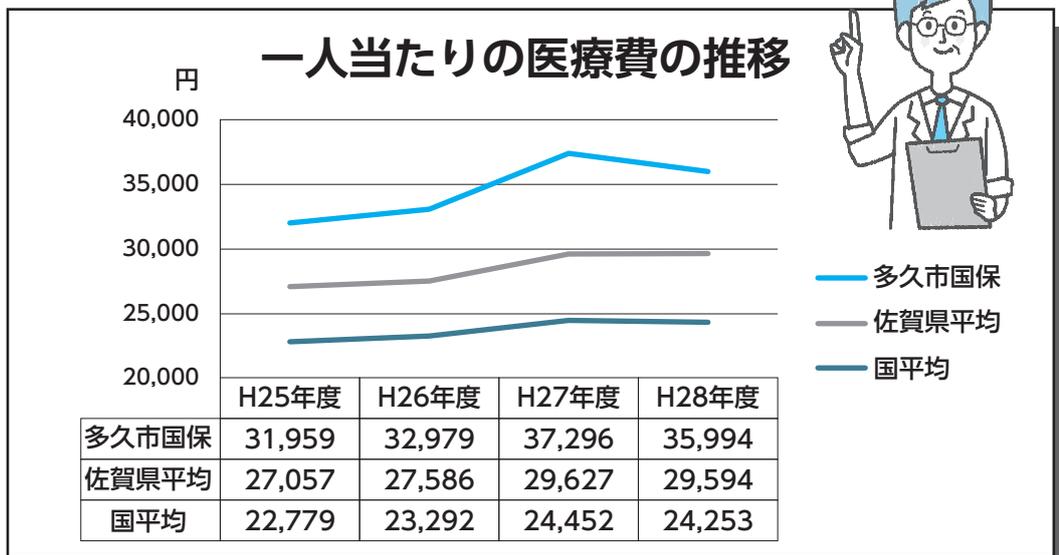
今回は多久市国民健康保険での医療費の動向と特定健診の必要性をお知らせします。
この機会に自分の健康管理と医療費についてもう一度考えてみましょう。

◎もしもに備える医療保険

国民健康保険（以下国保）は「もしも」に備えて、被保険者のみなさんが収入などに応じて出し合ったお金（国保税）で医療費などを賄う相互扶助の制度です。

◎増え続ける医療費

多久市をはじめ全国的に被保険者の高齢化や医療技術の進歩などにより、1人あたりにかかる医療費は年々増加しています。国保制度は、被保険者のみなさんが国保税を出し合って運営しているため、医療費が増え続けると、みなさんの負担も大きくなり、制度そのものの維持が難しくなってしまいます。



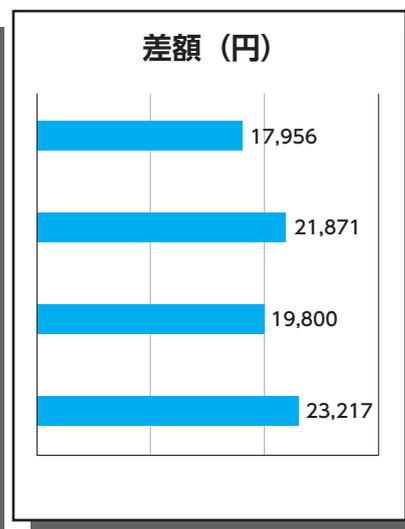
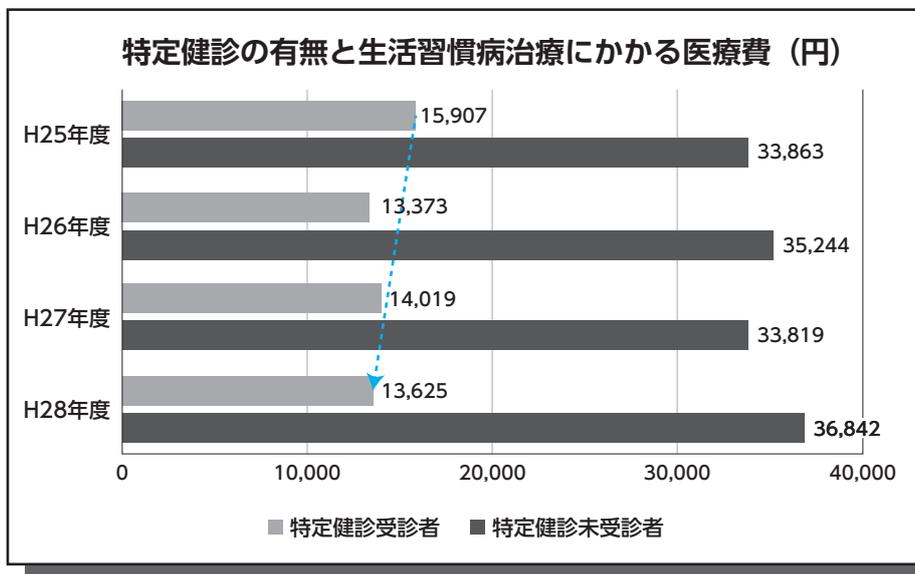
国保データベースシステムより

◎自分のため、みんなのために特定健診を活用しましょう

みなさんが、毎日健康に過ごすことで、医療費の増加を抑えることができ、また健診の受診率が高くなることで、みなさんの保険税負担を抑える仕組みがあります。

①特定健診を受けると医療費が変わる！？

特定健診を受けた人は、健診を受けていない人と比較して、生活習慣病にかかる医療費が2万円以上も安く抑えられています。また特定健診を受けた人は若干ですが年々医療費が減少しています。毎年特定健診を受けて生活を見直すことで、病気が重症化せず、医療費が抑えられていると思われます。



国保データベースシステムより